

協働事業提案制度の実施状況について

1 平成27年度の応募状況について

(1) 事業改善型提案、課題解決型提案の状況

ア スケジュール

5月15日～7月15日	提案受付（5月15日～6月15日 事前協議受付）
8月上旬	一次審査（要件審査）の実施
8月下旬～9月上旬	二次審査実施
8月31日	公開プレゼンテーション実施
9月9日	審査委員会開催
9月中旬	事業候補決定（平成28年度予算の成立をもって事業実施決定）

イ 応募状況

	事前協議 申込件数	提案件数	一次審査	二次審査
事業改善型提案	5件	1件	1件	—
課題解決型提案	1件	1件	1件	—
合 計	6件	2件	2件	

ウ 事業改善型提案の概要

- ①改善対象の事業 **介護予防事業（所管課：地域包括ケア推進課）**
- ②提案団体 **特定非営利活動法人 歌友クラブ**
- ③提案概要 昭和流行歌の「ナツメロ」を応用した認知症予防活動を促進するため、一般市民や介護福祉現場で従事している人を対象に、「ナツメロ回想法」を実践し、高齢者の健康づくり、認知症予防を指導する歌声福祉士の養成講座を開催する。

エ 課題解決型提案の概要

- ①設定課題 **地域における建物の防火安全性の向上（所管課：消防局予防課）**
- 市内にある不特定多数の者が利用する建物では、多数の消防法令違反を繰り返し指摘している状況である。指摘された違反の解消や新たな違反を発生させない取組みを地域ぐるみで行うことで、地域全体の防火安全性の向上を図りたい。
- ②提案団体 **千葉市中央地区商店街協議会**
- ③提案概要 中央地区商店街協議会地域内の建物の防火安全性を向上させるため、防火パトロールの実施、商店街に加盟する従業員等を対象にした防火推進員養成講座の開催、防火安全対策PRの実施、防火安全性向上ツールの開発を行う。

(2) 社会貢献型提案の状況（8月31日現在）

提案状況 提案件数 0件（相談件数 1件）

(3) 制度周知の状況

- ・ 市政だより・ホームページへの情報掲載
- ・ 千葉市民活動支援センターにて協働事業に関する意見交換会を実施（平成27年5月）
- ・ 千葉商工会議所発行の広報紙「ゆめシティちば」にチラシ（社会貢献型提案用）を同封して、会議所の会員企業へ周知（毎年実施・5000部配布）

2 平成26年度採択事業等の実施状況

(1) 課題解決型提案

ア 地域コミュニティ活性化に向けた空き家有効活用支援事業

空き家を地域コミュニティ活性化の資源として有効活用するために、空き家が増加しつつある分譲マンション団地管理組合及び戸建住宅団地自治会と連携し、空き家の実態把握及び活用検討を行う。また、その成果を千葉市全体に広く情報発信する。

（所管課：住宅整備課 協働事業者：特定非営利活動法人 ちば地域再生リサーチ）

（ア）空き家実態調査

真砂地区・高浜地区（戸建て）、稲毛海岸地区（マンション）を対象地区とし、下記の調査を実施。

①外観調査（平成27年6月～7月）

自治会、管理組合の情報を元に空き家の所在地、数、状態を把握するため、外観調査を実施。

《外観調査の結果》

地区名	区分	総戸数(戸)	空き家(戸)	空き家率
真砂地区	戸建	467	9	1.9%
高浜地区	戸建	327	7	2.1%
稲毛海岸地区	共同住宅	768	45	5.9%

②登記調査（平成27年6～7月）

外観調査の結果、空き家としたものについて、登記調査を実施。

③不動産市況調査（平成27年7月）

周辺地域で過去に売買された実績や現在売りに出されている物件の価格などをREINS（不動産流通標準情報システム）を使用し、把握した。

(イ) 今後の予定

法務局の登記情報や自治会提供による情報を元に所有者と連絡をとり、アンケート調査を実施し、活用意向の可能性のある方にインタビューを実施し、地域での活用の有無などを確認する。(平成27年8月中旬発送予定)

地域住民にも地域の課題、コミュニティの必要性、空き家活用方法などをアンケート調査(8月下旬予定)やインタビュー調査(9月上旬)により把握する。

イ 救急車の適正利用促進事業

救急車の適正な利用を促進するため、頻回利用者を対象に、居場所事業を実施する。また、地域の中での見守り体制を構築するために「街かど福祉相談員養成講座」を実施するとともに、受講者を組織化し、訪問活動及び巡回活動を実施する。

(所管課：救急課 協働事業者：特定非営利活動法人 V A I C コミュニティケア研究所)

(ア) 関係各所への説明・協力依頼(平成27年3月～5月)

対象地区を稲毛区とし、民生委員、稲毛区社会援護課・健康福祉課・高齢障害課・子ども家庭課、稲毛区あんしんケアセンターへ事業の説明を行い、事業実施の協力を依頼。

(イ) 対象者の確認及び訪問活動(平成27年5月～)

事業を実施するにあたり、対象者本人から「個人情報」の利用確認が必須条件となるため、ケースワーカーが対象者の訪問活動を行う際に、消防局とV A I C コミュニティケア研究所が同行訪問活動を行っている。また、対象者個々の状況が大幅に違うため、状況が確認できる対象者から、順次支援計画を立てていく。

(ウ) 今後の予定

訪問活動や見守り活動を行うため、街かど福祉相談員養成講座を9月に実施予定。養成後、受講修了者は相談員として活動を始める。相談員を組織化し、地域の中での見守り体制を構築していく。

(2) 社会貢献型事業

◇子どもたちが自然や生命の大切さを学べる体験型イベントを実施

中央牧草センターの圃場及び動物公園を活用し、子どもたちが生牧草の収穫や動物公園のバックヤードでの給餌などを体験できるイベントを連携・協働し実施する。

(所管課：動物公園 協働事業者：株式会社中央牧草センター)

※平成26年11月 第1回のイベントを実施。参加者41名(参加者の保護者含む)。

平成27年 6月 第2回のイベントを実施。参加者36名(参加者は小学生のみ)。

【参考】 協働事業提案制度に基づく提案事業の予算額の推移

	団体名	事業名	予算額（千円）			
			H24	H25	H26	H27
H 23 提案事業	おゆみの道 緑と せせらぎの会	おゆみ野フォーシーズンプロジ ェクト	180	180	180	180
	(特非) 生ごみ減 量研究会	生ごみ堆肥化の段ボールコンポ ストの製作	197	525	864	918
	(特非) P B L ス クール	課題発見・探究・解決を通した こどもの参画推進WS及びフォー ーラム開催事業	1,323	690	670	860
	稲毛スカイタウン 自治会	事業名：明るくて安心、そして 頼りになる公園づくり	78	74	74	74
	小 計		1,778	1,469	1,788	2,032
H 25 提案事業	(特非) ファザー リング・ジャパン	男性育児参画促進事業	—	—	867	867
	地域ケアパートナ ーほっと	誰もが安心して暮らせるまちを 目指した受診介助ボランティア 育成・運営システム構築事業	—	—	2,498	1,238
	小 計		—	—	3,365	2,105
H 26 提案事業	(特非) ちば地域 再生リサーチ	地域コミュニティ活性化に向け た空き家有効活用支援事業	—	—	—	2,000
	(特非) VAIC コ ミュニティケア研 究所	救急車の適正利用促進事業	—	—	—	1,900
	小 計		—	—	—	3,900
	合 計		1,778	1,469	5,153	8,037